

千葉県社会福祉審議会・平成26年度第2回低所得階層福祉専門分科会
開催結果概要

- 1 日時 平成27年3月10日（火） 午後2時50分～同3時45分
- 2 場所 千葉県教育会館本館2階 202会議室
- 3 出席委員（委員：総数7名中4名出席）
大野委員、白戸委員、小島委員、大坪委員
- 4 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) あいさつ（健康福祉指導課長）
 - (3) 議事
 - ア 千葉県救護盲老人施設猿田荘及び千葉県松風園の社会福祉法人への移譲について
 - イ その他
 - (4) 閉会
- 5 議事
 - ア 千葉県救護盲老人施設猿田荘及び千葉県松風園の社会福祉法人への移譲について
 - ①事務局説明
別添会議資料に基づき説明
 - ②主な意見及び質疑応答
 - （意見）
基本的には、（猿田荘と松風園を社会福祉法人へ移譲することについて）賛成です。民間でやってもらったほうが、機動的な運営ができますし、その方向で進めてもらって構わないと思います。
 - （質疑）
猿田荘と松風園の移譲に向けての改修費用はおおよそどのくらいかかる見込みでしょうか。
 - （回答）
27年度実施予定の改修工事としまして、猿田荘については、ボイラー機器の交換等に約2,000万円、松風園がエレベーターの設置等に約7,000万円の費用がかかる見込みです。
なお、27年度実施予定の工事については、今現在の施設を通常どおり運営するのに必要な工事を行うこととしているところです。

また、猿田荘、松風園ともに施設老朽化が進んでおりますので、近い将来、大規模な改修や建替え等の必要性があるかと思えます。仮に民間法人への移譲となった場合には、移譲先法人への一定のインセンティブとなるような移譲条件（土地や建物等の譲渡条件など）について、今後検討を進めていきたいと考えております。

（意見）

私も基本的には賛成です。民間に移譲してサービスが向上し、あるいは経営そのものが安定するのであれば、移譲の方向で問題ないかと思えます。

（意見）

過去に大網白里市にある房総平和園（救護施設）にもお伺いしたことがありますが、地域の方も施設を頼りにされている部分があって、こうした施設があるのは地域にとってすごく良いことだと感じました。

当時は、大網白里町が運営していたと記憶していますが、職員さんの人数も十分ではないのかなと思うところがありました。民間の法人さんが運営することで職員さんの人数が増えて、サービスの向上が期待されますので、（民間移譲は）大変素晴らしいことだと思います。

（質疑）

猿田荘、松風園の入所者に係る県内、県外の措置状況がわかれば教えてください。

（回答）

まず、救護施設についてですが、26年4月1日現在、猿田荘の入所者47人のうち県内が46人、県外（茨城県）が1人です。

また、松風園については、入所者88人のうち県内が78人、県外が10人（東京都7人、埼玉県3人）となります。

次に、猿田荘の盲養護老人ホームについては、入所者44人のうち、県内が32人、県外が12人（東京都7人、茨城県5人）となっております。

イ その他

生活困窮者自立支援制度や子どもの貧困対策に係る事項の進捗状況について（報告事項）

①事務局説明

②主な意見及び質疑応答

特になし

6 答申内容

『千葉県救護盲老人施設猿田荘及び千葉県松風園については、社会福祉法人へ移譲することが適当である。』

以 上